

各種課税マスターデータと地図データを一元管理

- 事務処理の軽減
- 客観的なデジタル資料に基づく、税負担の公平性の確保。

特長

特長 1

土地・家屋マスターデータ等の各種データベースと地図データをリンクさせることで、**地図上での所有者、地目等様々な属性情報の表示**

特長 2

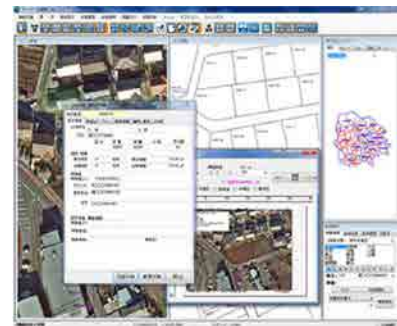
台帳データベースからの多様な集計・検索

特長 3

路線価・その他宅地評価それぞれの評価方法に対応

特長 4

統合型GISへの移行にも容易に対応。導入後の地図のメンテナンスまで。



メリット

01. 事務処理の軽減!

各種課税マスターデータと地図データを一元管理することによる事務処理の軽減

02. 公平性の確保

客観的なデジタル資料に基づく、税負担の公平性の確保

03. 作業がスムーズに!

マニュアルに頼らない操作性で、評価支援や画地計測等の作業も容易

04. 重ねて見える化!

市販地図データ(住宅地図など)の表示及び固定資産地図データとの重ねあわせ表示



取り扱いデータ

属性データ

課税マスターデータ（土地・家屋）

地図データ

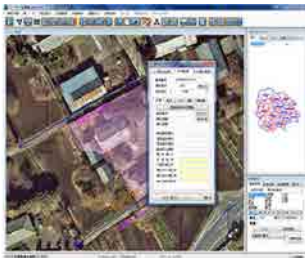
数値データ（国調済みエリア）、地番図データ、字図データ等

紙地図

都市計画図、上下水道図、防災マップ等の紙地図

機能

- 画地計測(奥行き・間口・陰地割合測定)



◀ システム上での画地計測

- ユーザーによる筆界線の入力等の作図機能、線種の変更



◀ 図上にテキスト・ライン・図形データを作成可能

- 表示区域の任意移動/任意拡大・縮小/座標表示/面積・距離計測
- 図形出力は出力範囲や縮尺、用紙サイズが自由に指定でき、スケールバー、方位、凡例も同時に出力